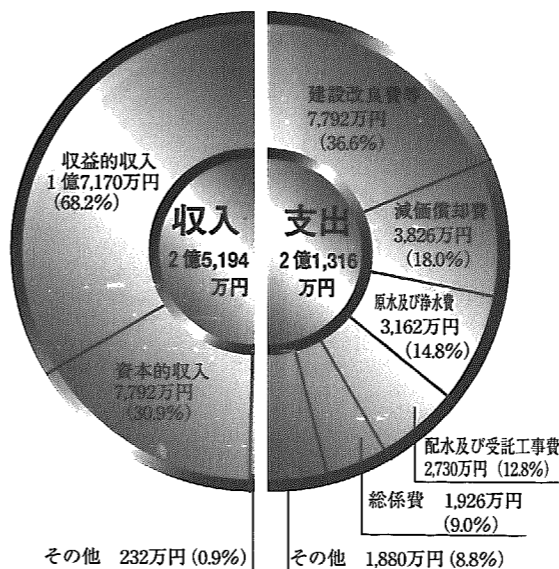
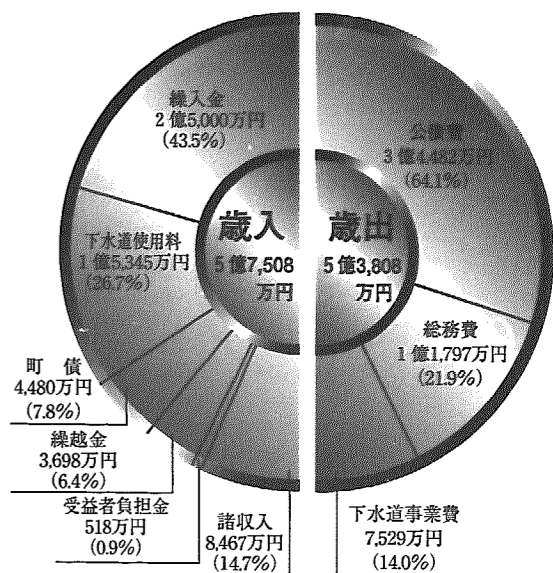


# 平成14年度 特別会計決算

## 水道事業会計



## 下水道事業特別会計



当町の下水道事業は、昭和54年度に着手して以来、24年が経過しました。下水道整備は、合併浄化槽で対応する区域を除き、計画した工事はほぼ終了しました。

平成14年度末における整備面積は302ha、普及率は98%となっています。また、下水道に接続している戸数は、2,642戸(9,495人)、水洗化率は84.7%となっています。

まだ下水道に接続していない家庭(合併浄化槽区域を除く)は、早めの接続をお願いします。

収支決算は、収支とも対前年度比2%程度の増減で、事業完了に伴い、横ばいとなっています。

当町における水の使用量は、下水道の普及や生活様式が向上しているにもかかわらず、逆に水需要はあまり増加していません。

平成14年度も石綿管や配水管の布設替え等の工事を行い、安全でおいしい水の安定供給に努めてきたほか、町内5か所に消火栓を設置しました。

その結果、浄水費や工事費、減価償却費、起債の利子等の支出は2億1,316万円、収入は合計で2億5,194万円となり、差し引き3,878万円が繰越となりました。

## 町議会 9 月 定例会

### 平成14年度一般会計 各特別会計決算を認定 平成15年度一般会計補正予算可決

横越町議会9月定例会が、9月17日から26日までの10日間の会期で開催されました。

初日には、一般質問に4名の議員が立ち、子どもセンター、阿賀野川フラワーライン整備事業、道の駅設置、合併問題の今後のスケジュールなどについて、町長等に質問しました。

続いて、平成15年度横越町一般会計補正予算、平成15年度老人保健特別会計補正予算などについて審議、可決されました。

18日から24日まで、現地調査を含めて決算審査特別委員会が開かれ、平成14年度一般会計・特別会計のそれぞれについて審査。25日には市町村合併調査特別委員会、また、各常任委員会で付託案件等が審議され、最終日の26日、平成14年度一般会計決算などについて認定し、閉会しました。

### おもな議案

- 平成14年度一般会計決算  
今月号2〜3ページに掲載。
- 平成14年度国民健康保険・家畜診療所・下水道事業・老人



人権擁護委員の推薦  
大竹真理子氏(二本木4丁目再任)

平成15年度一般会計補正予算(第2号)

3,811万4千円を追加し、歳入歳出の総額は38億5,018万5千円となりました。

補正のおもなものは、子育てに関する実態調査委託321万円、プラスチック製容器包装類収集関係費469万円、町道770号線道路舗装補修工事315万円、町道舗装・打換段差補修工事300万円、町道3号線道路側溝清掃委託280万円、都市計画マスタープラン印刷製本260万円、老人福祉センター石油ファンヒーター設置工事210万円などを追加しました。

人権擁護委員の推薦  
大竹真理子氏(二本木4丁目再任)

## シリーズ⑬ 新潟地域 合併問題協議会の動き

### 第8回協議会開催 農業委員会は4つに

9月8日、新潟市で第8回新潟地域合併問題協議会が開催されました。

合併に伴う各種事務事業で残っていた精神障害者医療費助成事業の調整方針案について、「横越町の制度については、当分の間、現行のとおりとするが、今後、速やかに制度統一に向け検討する」と承認されました。

続いて、農業委員会の取扱いについて、「農業委員会については、新潟市に定数30人の農業委員会、新潟市・小須戸町・横越町・亀田町に定数30人の農業委員会、豊栄市に定数13人の農業委員会、白根市・岩室村・西川町・味方村・潟東村・月潟村・中之口村に定数40人の農業委員会を設置する。ただし、各農業委員会の区域については、

### ●監査委員の審査結果●

平成14年度一般会計及び特別会計を審査した結果、各会計決算及び証びょう書類の計数は正確で、その内容及び予算の執行状況についても適正かつ妥当であり、事業の成果もあつたものと認めました。

又、財産管理及び各基金の運用についても、全般的に適正かつ妥当であると認めました。

監査委員 今井 誠  
長谷部松雄

### 町の水道水について

- ・年度末給水人口 10,259人
- ・配水量(年間) 145万2,996m<sup>3</sup>
- ・1日当たり最大配水量 4,656m<sup>3</sup>
- ・普及率 100%
- ・配水量(1日平均) 3,980m<sup>3</sup>

町内の水道水は、阿賀野川の横雲橋上流部より取水され、横越小学校隣りにある新潟市水道局阿賀野川浄水場で浄化されてから配水されています。なお、阿賀野地区(旧焼山地区)については、阿賀野川の水および地下水(安田町)を、水原町はか三カ町村水道事業団の大室浄水場(笹神村)で浄化した水を使用しています。

いずれの水道水についても、毎月検査を行い、水質基準に適合した安全な水であることが確認されています(検査結果は、広報12月号に掲載します)。

平成14年度会計名	収入 済 額	収入 済 額 前年度比	支出 済 額	支出 済 額 前年度比
一般会計	48億6,649万円	+8億8,460万円	45億6,595万円	+7億8,406万円
国民健康保険	7億3,952万円	+4,992万円	6億3,344万円	+783万円
老人保健	8億9,165万円	-1,975万円	8億9,165万円	-1,975万円
介護保険	5億1,887万円	+3,302万円	5億1,111万円	+5,141万円
家畜診療所	1,526万円	+0万円	1,444万円	+7万円
下水道事業	5億7,508万円	+130万円	5億3,808万円	+127万円
水道事業	2億5,194万円	+239万円	2億1,316万円	-14万円

※端数処理によって、合計の金額に違いが生じることがあります。



## 第8回新潟地域合併問題

合併後の状況により再編、見直しを図る」という調整方針案が承認されました。

その後、地域審議会と政令指定都市について、他の都市の事例説明がありました。地域審議会については、新潟市を除く各市町村に設置されることが第5回協議会で承認されており、今後先進地の事例等を参考に所掌事務や組織等の内容が検討されます。また、合併後、政令指定都市実現を目指していることから、今後区割りや区役所の権限、組織体制などについて検討が行われます。

政令指定都市になると、県が行っている多くの事務が市に移管され、これまで以上に住民ニーズに的確、迅速に対応した行政を進めることができるようになります。日本海側の政令指定都市として全国的・国際的な認知度が高まり、イメージアップも図られることで、人・もの・情報等の交流が進み、都市型産業の創出・集積など、都市の活性化や雇用の拡大が期待できます。優れた都市機能と豊かな自然環境が調和・共存する「田園型政令指定都市」を目指すとともに、区役所にできるだけの権限を委譲し、住民自治の充実を図り、住民と行政による協力のまちづくりを推進する分権型の政令指定都市の実現を目指しています。

9月29日に行われた第9回新潟地域合併問題協議会の内容は、来月号の広報でお知らせします。早く内容を知りたい方は、総務課に資料がありますので総務課までお越しください。

### 政令指定都市指定の状況(昭和47年以降)

都市名	指定年月日	指定時人口	指定時面積	人口密度
札幌市	S47.4.1	105.2万人	1,118km <sup>2</sup>	941
川崎市	S47.4.1	98.3万人	136km <sup>2</sup>	7,216
福岡市	S47.4.1	88.5万人	255km <sup>2</sup>	3,475
広島市	S55.4.1	88.7万人	676km <sup>2</sup>	1,314
仙台市	H 1.4.1	89.8万人	788km <sup>2</sup>	1,139
千葉市	H 4.4.1	83.5万人	272km <sup>2</sup>	3,064
さいたま市	H15.4.1	105.0万人	168km <sup>2</sup>	6,250
新潟市		77.9万人	650km <sup>2</sup>	1,199

市町村合併についてのご意見・お問い合わせは、総務課までお寄せ下さい。